

院長 コラム

一緒に考えましょう
健康のこと
医療のこと

50

働き方改革



市民病院
院長 神谷里明

ある病院の後期研修医が自殺したのは長時間労働による過労によるものであったと労働基準監督署に認定され、世間を騒がせました。現在、医師の働き方が問題となっています。医師における労働とは？次の診療に備えるための勉強などは労働なのか、それとも自己研鑽なのか。

医師は常によりよい医療を提供するために新しい知識を身につけ、自己の能力を伸ばそうとしています。時間内に行えるときもあれば、時間外でなければできないときもあります。また主治医がご家族に対して患者さんの状態などを説明するのに夜の時間帯や休日希望される場合があります。これも時間外労働が多くなる原因の一つと言われています。

また病院では医師が必ず宿直、日直

をしなければなりません。医療機関において、宿日直勤務として許可される業務は、常態としてほとんど労働する必要がない業務のみです。しかし実際には夜間、休日に来院した患者さんの対応(診療)も行っています。また救急患者さんや、入院中の患者さんで緊急の処置や手術等が必要になれば夜間等時間外に対応しなければなりません。

夜間に仕事をしても翌日以降に影響しないようにするためには交替制勤務を組む必要があります。その体制を整えるためには、それなりの人数をそろえる必要があります。しかし、現在の医療費削減に向かっていく診療報酬制度ではそれだけの人数を雇うことは現実上無理であるし、医師の数も不足しています。医師も普通の労働者であり、休まず、寝ずに仕事を続けることはできません。夜働けば翌日の能力は低下するのが普通です。

これから2年かけて「医師の労働とは」という議論が行われ、そこから5年後に医師の労働規制が開始されます。このことは当院だけの問題ではありません。そのときに地域住民が安心して暮らせる医療体制が組めるような仕組みを地域全体で考えていきたいと思います。

市民病院を知ろう⑥ リハビリテーション編

今回は、リハビリテーションに関することについて、久富副院長、中里リハビリテーション室長にお話を聞いてきました。

Q. 利用者について教えてください。

A. 入院患者の6割弱が利用しています。また、小児の言語障がいや当院での手術後のサポートとして一部外来のリハビリも提供しています。

Q. リハビリにはどのような種類がありますか。

A. 起きる、歩くなど、生活する上で基本となる動作能力の獲得、改善を目標とする「理学療法」、食事・入浴などの生活動作の獲得や認知機能の向上を目標とする「作業療法」、話す・聞く・読むという言葉の障がいや飲み込みの障がいに対する訓練を行う「言語聴覚療法」の3種類があります。医師の指示のもと、患者さんの疾患や運動機能に合わせたリハビリを、それぞれ専門の担当スタッフと共に実施します。

Q. 力を入れていることや特長はありますか。

A. 一人の患者さんと向き合う時間が長いので、スタッフ間での情報共有や患者さんとのコミュニケーションを大切にし、より安心・信頼してリハビリに取り組んでいただけるよう努めています。

特長として、幅広い疾患の患者さんを受け入れること、入院時から退院までの長い期間対応できることが挙げられます。また、当院にはリハビリ専門医が常勤しており、理学療法士をはじめとする専門スタッフとチーム一丸となつて患者さんの回復をサポートします。さらに、回復期リハビリテーション病棟では、365日体制をとっています。そのため、発症早期から集中的にリハビリを実施することができ、一日も早い家庭・社会復帰につながります。

今回のインタビューでは、リハビリ専門医の的確な指示のもと、より質の高いチーム医療を提供していることがわかりました。市民病院では入院時から充実したリハビリを受けることができます。

問合せ 市民病院管理課管理G
☎ 28-5151 内線22001



津島市民病院
腎臓内科医師尾関
俊和

末期腎不全と3つの治療法

腎臓の役割

体の中を流れる血液は酸素や栄養素を全身の細胞に届け、体内の老廃物や二酸化炭素を運び出します。その老廃物は腎臓に届けられます。腎臓はお腹の後ろ側に左右一つずつあります。形はそら豆のような形で、大きさは握りこぶし大です。腎臓は心臓から血液を受け取り、腎臓に入った血液は、小さなザルのような糸球体という毛細血管を通り濾過されます。濾過されたあとの尿は膀胱へと流れていき、不要な有害物質が最終的には尿として排泄されます。つまり、大切な血液をきれいにしてくれる役割を担っています。腎臓の機能が低下すると、貧血が進み、また不要な老廃物を除去できず、体内に毒素が溜まって尿毒症に至ってしまいます。さらに血圧や水分調節、ビタミンDの活性化障害、ミネラルバランスの異常が起こります。こういった腎機能が低下した状態を末期腎不全といい、治療法には血液透析、腹膜透析、腎移植の3つがあります。

①血液透析

機械に血液を通して濾過することで、血液をきれいにする透析療法です。1分間に約200ml前後の血液を循環させ濾過する必要があり、これだけの血流量を確保するには、動脈と静脈をつなぎ合わせ血管を太くする手術が必要です。手術して太くした静脈に針を刺し機械を使って体の外に血液を取り出して特殊な膜へ循環させ、血液をきれいにしたあと、体に戻します。病院に通院して、1回4時間前後を週3回行うことが一般的です。病院に通院しながら行うため、病院スタッフが適切な管理を提供してくれますが、デメリットとしては、拘束時間が長いこと、老廃物や水分を4時間で一気に除去するので、血圧が下がったり、気持ち悪くなったりすることもあります。

②腹膜透析

自分の体の中にある腹膜を使って血液をきれいにします。腹膜はお腹の内面にあって、胃や腸などの臓器をおおっている薄い膜です。腹膜で囲まれたスペースに手術でチューブを埋め込みます。そこから透析液を入れ数時間ためておくことにより、腹膜を介して血液をきれいにします。透析液をお腹の中にため

ておくと、老廃物や余分な水分が腹膜から透析液側に移動します。その後、透析液をお腹の中から廃液することにより透析が行われます。透析液をお腹の中にためている状態でも自由に行動できます。CPAD（連続携行式腹膜透析）では4～6時間程度の貯留をバッグ交換を行いながら一日に4回程度繰り返します。APD（自動腹膜透析）の場合は、睡眠中にまとめて3～5回程度のバッグ交換を機械が自動で行います。在宅療法ですので、自分の生活パターンに合わせた透析ができ、急激な変化が少なく体への負担が少ないです。しかし、腹膜の使用には限界があり、腹膜機能が低下した時点で別の療法へと切り替える必要があります。また腹膜炎や出口部感染といった合併症にかかる可能性があります。

③腎移植

年間約1,600人の方が腎臓移植を受けています。腎臓移植は腎臓を提供していただく方が必要で、生体腎移植と献腎移植があります。生体腎移植は血縁者や配偶者などから2つある腎臓のうちの1つを取り出して、腎不全患者に移植します。献腎移植は、脳死後または心停止後の方から腎臓を提供してもらう方法で、献腎移植をうけるためには日本臓器移植ネットワークに登録をしておく必要があります。透析療法をうける必要がなくなりますが、免疫反応を抑える薬の内服を継続しておこなう必要があります。

最後に

末期腎不全となってしまった場合にどのように治療していくのが望ましいかは、個人の生活状況によって異なります。正しい知識を身につけて、よく家族や主治医と相談することが必要です。



市民病院の 診療科のご案内③

津島市民病院は、海部医療圏における二次救急医療機関として、地域の救急医療を担い、市民の皆さんに安心・信頼の医療を提供しています。

地域の開業医の先生方と連携して、患者さんの診察や検査等を行っています。入院や検査など、高度な医療が必要となった際には、ぜひ市民病院をご利用ください。

12月号に引き続き各診療科をご案内しますので、参考にしてください。

問合 市民病院 ☎28-5151



耳鼻いんこう科

安江 穂
耳鼻いんこう科部長



耳鼻いんこう科では、耳の病気、鼻の病気、のどの病気、首の病気を診察しています。お子さんからお年寄りまで、幅

広い年齢層の患者さんを診察します。急性炎症性疾患では、痛んだり腫れたりするので速やかに治療する必要があります。代表的なものは、急性中耳炎、急性副鼻腔炎、急性扁桃炎などです。また、「聞こえ」や「臭い」や「味」は生活の質に大きく関わります。治せるのか、治りにくいのか、しっかりと判断し適切な対応をしなければなりません。その他、耳からくるめまい症はグルグル回ることが多く、不安も強くなります。めまいの治療と同時に生活指導、めまいリハビリ指導なども行います。

耳鼻いんこう科かな?と思う症状があれば、お気軽に当科を受診してください。



歯科口腔外科

水野 裕和
歯科口腔外科
部長



歯科口腔外科では、
①顎骨骨折、顎変形症など手術および入院管理を必要とする症例
②埋伏智歯の抜歯、歯根嚢胞摘出をはじめとする外来小手術
③あごの痛み、雑音を主症状とする顎関節症および咬合不全
④口腔粘膜疾患
⑤口腔乾燥症・舌痛症・味覚異常など口腔不快症状を呈する疾患
⑥インプラント治療および顎顔面再建など、一般歯科医院では対応困難な口腔領域の疾患に対応しています。

病院歯科口腔外科の機能を生かして、院内他科との連携を密に行い、より全身管理を中心とした顎口腔領域の治療の提供、また、近隣の歯科医師会との病診連携を推進し、歯科医療の2次医療機関として、歯科医療における高次医療の提供を目標としています。

口腔内に右記のような問題をお持ちの方は、是非かかりつけの先生にご相談の上、紹介状をご持参ください。



放射線科

大宮 裕子
放射線科部長

放射線科では、X線検査や造影検査、CT、MRI、R-1検査、骨密度測定、乳腺撮影など一般的な検査から特殊な検査や治療まで幅広く担当しています。市民病院の放射線科医は画像診断と経カテーテル治療を重点的に担当しています。

画像診断とは、撮影された画像フィルムを評価して、病気を探す、病気でないと判断する、考えられるいくつかの疾患の鑑別診断を行う、病気の拡がりを判定する、治療の効果を評価するなどして、文章で報告するものです。主治医とのダブルチェックで異常を指摘したり、逆に余分な処置を防いだりすることにより、より適切な治療が提供できるようになります。

経カテーテル治療は、メスを用いない手術のようなものです。血管造影の手法を応用して、血流を塞ぐ、血管を拡張するなどの治療を行っています。



リハビリ テーション科

紙本 薫
リハビリテーション科
部長



リハビリテーション科では骨折、脳血管障害(脳出血、脳梗塞など)外科手術用の急性期治療後に、集中的にリハビリを行うことにより、身体的機能改善を目的として診療しています。

外来診療では、呼吸器疾患のリハビリ、小児の言語発達遅滞、当院で手術された腕手の骨折のリハビリを実施しています。

入院診療では、回復期リハビリテーション病棟において、365日休みなくリハビリを実施しており、早期の在宅復帰や社会復帰に向けて、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、ケアスワーカー等と協力しあって、入院から退院まで途切れなく必要なサポートを行っています。



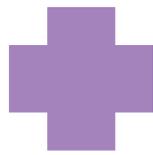
眼科

福喜多 寛
医師

眼科では、眼の健康を保てるよう、白内障・緑内障・網膜硝子体疾患をはじめとして、眼科疾患の治療、手術に対処しています。

外来診察は月曜日から金曜日の午前中、予約制となっております。月・火・木曜日の午後は手術日、水・金曜日の午後は処置、検査を行っています。

もの見えにくさなど眼の不調を感じた場合は、可能であればまずお近くの眼科を受診の上、当院紹介についてご相談ください。



緩和ケア内科

高塚直能
緩和ケア内科
部長



緩和ケア内科では、主にがんの患者さんを対象として、痛みをはじめとする苦痛症状を緩和するための治療を外来および入院に行っています。

外来診療では、薬物療法をメインに、診断早期から身体的および精神的症状に対する緩和治療を進めています。入院医療では、緩和ケア病棟において、医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士らの力を結集し、より総合的に苦痛の緩和に当たっています。

また自宅で過ごしたいという患者さんのご希望に応え、訪問診療や訪問看護を行っている諸機関との連携も進めています。さらには在宅療養中にご家族にかかる介護負担の軽減や急な症状悪化に対する症状緩和を目的とした短期入院(レスパイト入院)にも対応し、在宅でも安心して療養をして頂ける体制づくりを進めています。

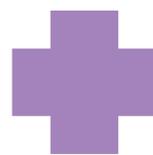


病理診断科

横井豊治
病理診断科
部長



病理診断科は、内科、外科、小児科などと同じく、基本診療領域のひとつで、当院では常勤病理医の着任に伴い平成29年10月に新設されました。病理診断科では患者さんを直接診察



健康管理センター

河瀬孝順
健康管理
センター部長



することは通常ありませんが、患者さんから採取された組織・細胞を病理医が詳しく調べることにより病気の診断を行い、各科での治療方針の決定に有用な情報を提供しています。また、がんなどに対する治療法として普及している内分泌治療や分子標的治療の適否について組織検体を用いて判定する特殊な検査も行っています。

健康管理センターでは、各種ドックや健康診断を行っています。

ドックは、疾病の早期発見や日ごろの生活習慣を見直し、病気を予防するチャンスになります。また、現在の自分の健康状態がわかり、健康意識が高まります。人間ドック・脳ドック・レディースドック等の各種ドックを用意していますので、是非ご利用ください。

また、「検診結果説明を丁寧」に心がけています。結果について、ご不明の点があればお気軽にお尋ねください。